

会社案内
株式会社ビアン



b i e n

認知症になっても安心して暮らしていくために

弊社は認知症対応型グループホームの運営をベースに介護福祉事業を営む法人として、2002年7月に荻窪を本社として設立致しました。当初は介護保険が施行されてから2年しか経過しておらず、グループホームの数も少なかった中、2003年にオープンしたもえぎ西荻北は杉並区内において民間初のグループホームとして注目を集めました。また翌年の2004年に開設したもえぎ三鷹上連雀も三鷹市内で最初に開設したグループホームでした。

今では「認知症ケアの切り札」として相当数の整備が進み、高齢者の「新しい住まい方」として認識されるようになったグループホームですが、私たちは今後も法人創設以来こだわり続けてきた「人」と、その育成を軸に、グループホームの老舗として歩んできた歴史に誇りを持って、ホームに関わる多くの皆様との信頼関係を構築し、さらに皆様のお力になれるよう邁進して参ります。

認知症と言うと、昨今の予防に力点を置いたマスコミの影響もあるのでしょうか、どうしても「怖い」「破滅」「徘徊」といったネガティブな言葉に結びつけて捉えられ、マイナスのイメージを持たれている方が多いのではないかと思います。しかし、認知症になっても感情は残っています。クローズアップされがちな周辺症状（BPSD）を全ての認知症の方が起こすわけでもありません。周囲が適切な対応を取り、ちょっとした支えの手を差し伸べ、正確な知識を持つことで、最後までその人らしさを維持しながら豊かな生活を送り続けることが出来るのです。

私たちは「認知症になっても安心して暮らせる街づくり」を目指して、グループホームとしての長所を伸ばし、その魅力に磨きをかけながら皆様の不安に寄り添っていきたいと考えています。世界に先駆けて超高齢社会に突入した我が国において、認知症高齢者の有症者数は年々増え続けています。認知症を特別な人が抱える特別な病としてではなく、誰にでも起こりうる病として捉え、共に生きていくことが私たちには求められています。最も不安を抱いているのは当のご本人であるのは言うまでもありません。彼らは人生において全く初めての事態に遭遇し、戸惑いを覚えています。そして、彼らを支えるご家族の不安、地域の方々の不安、そうした皆様の不安に私たちが寄り添うことで、安心して年を重ねられる社会づくりに貢献して参りたいと思っております。

平成 29 年 8 月吉日
株式会社ビアン
代表取締役 吉田 洋之

グループホーム、新しい暮らしのかたち

有吉佐和子が1972年に発表した『恍惚の人』は、認知症当事者とその家族の現実を描き出して世間に衝撃を与えました。ある日、認知症状態となった茂造は主人公でありながらその心の動きを描かれることはありません。家族はすっかり別人格となった茂造に振り回されて疲労困憊。懸命の介護も虚しく悲劇の中に幕を閉じます。

高齢化社会の到来当初、認知症患者は病院や施設に隔離拘束され、尊厳は保たれず、人間らしさとはおよそかけ離れた晩年を送らざるを得ませんでした。しかし、1995年46歳でアルツハイマーを宣告されたオーストラリア政府の高級官僚クリスティーン・ブライデンさんは当事者の立場から発言を始めました。著書『私は誰になっていくの?』の中で「認知症になっても必要な時に適切な支援があれば、尊厳を保ちながらその人らしく暮らしていける」と述べています。

認知症とどのように向き合っていくのか模索する中で誕生したグループホーム。自宅で暮らし続けるのは難しいけれど、住み慣れた地域で、慣れ親しんだ環境のもとで生活が続けたい、グループホームとはそうした方のための「住まい」です。もえぎのスタッフはご利用者ひとりひとりの人格と尊厳を大切にしながら、ご利用者主体の生活を支えています。

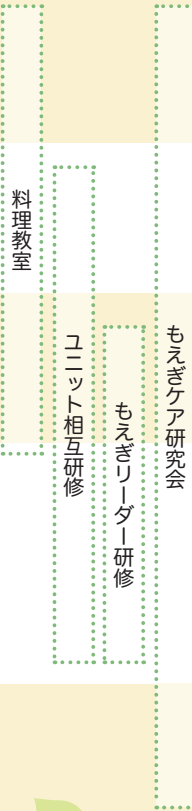


もえぎ運営理念

- その人らしく生きる姿を、温かな心と確かな専門性を持って支え続けます。
- その人の有する能力を見極め、発揮する機会と活躍の場を提供します。
- 思いの背景を汲み、本人の意思を尊重します。
- 地域社会の中で人と人とのふれあいを大切にします。

スタッフキャリアプラン

キャリア	資格	研修
新入社員 (入社1年目)	介護職員初任者研修修了	新入社員研修 接遇マナー研修
一般社員 (入社2年目以降)	介護職員初任者研修修了	フォローアップ研修 グループホーム基礎研修 認知症介護基礎研修
主任 サブリーダー	介護職員初任者研修修了／ 介護福祉士	昇格者研修1
係長 ユニット長	介護福祉士	昇格者研修2 リスクマネジメント 高齢者権利擁護 実践者研修 実践リーダー研修
課長 ホーム長（管理者）	ケアマネージャー／ 認知症ケア専門士	昇格者研修3 コーチング研修 管理者研修



スタッフ研修プラン

より良いケアを目指し、スタッフが目標を持ってより大きく成長していくために、年間を通じてさまざまな研修を行っています。

内部研修			主な会社イベント
 もえぎケア研究会 専門家の方をお招きし、より良いケアのための知識を学びます。	料理教室	1月	 地域での合同消防訓練
		2月	
	もえぎケア研究会 料理教室	3月	
	もえぎケア研究会 新卒者研修	4月	
 外部向けの研修会も開催	料理教室 新人オリエンテーション	5月	 ボウリング大会
	もえぎケア研究会 昇格者研修	6月	
	もえぎケア研究会 料理教室	7月	
		8月	
 もえぎ便り ご家族様とご利用者様、そしてスタッフをつなぐ季刊誌です。	もえぎケア研究会 料理教室	9月	
	もえぎケア研究会	10月	
	新人オリエンテーション 料理教室	11月	
		12月	
			その他外部研修 グループホーム基礎研修／ 認知症介護基礎研修／リス クマネジメント研修／高齢 者権利擁護研修／実践者研 修／リーダー研修／コーチ ング研修／管理者研修 etc.

※研修プランは年によって変わることがあります。

もえぎの特徴

尊厳を支える自立支援



万全のスタッフ体制

認知症ケア専門のスタッフがご入居者を見守り、
脇役となって生活を支えています。

<当たり前>の生活

お買い物や畑いじり、趣味を楽しみながら地域の中
で生き生きと暮らしています。

少人数(1ユニット9人)での共同生活

使い慣れた家具などを持ち込んで自宅の雰囲気を作り、
ご入居者のプライベートを大切にしています。

安心なバックアップ体制

医療機関と提携したバックアップは24時間対応。
スタッフの研修や講座なども定期的に開催しています。



もえぎ所在地



もえぎ西荻北

2003年10月開設 3ユニット入居定員 27名

住所 東京都杉並区西荻北1丁目19-17 TEL 03-3301-2036



もえぎ三鷹上連雀

2004年1月開設 3ユニット入居定員 27名

住所 東京都三鷹市上連雀5丁目28-3 TEL 0422-70-5166



もえぎ中野白鷺

2007年9月開設 2ユニット入居定員 18名

住所 東京都中野区白鷺1丁目6-3 TEL 03-5327-4240

会社概要

株式会社ビアン

設立 2002年7月
取締役会長 吉田祐一
代表取締役社長 吉田洋之
取締役 水島隆明
藤井貞雄
監査役 高橋武仁

資本金 57,000千円
本社 〒167-0051
東京都杉並区荻窪5丁目18-12
電話 03-3220-4725
URL <http://bien-moegi.jp/>

取引銀行 三菱 UFJ 銀行荻窪支店
みずほ銀行荻窪支店
西武信用金庫荻窪支店
事業内容 介護保険法に関わる諸事業を行う。認知症対応型共同生活介護事業他

グループ会社

株式会社興建社

設立 1946年5月 建設業
代表取締役 水島隆明
資本金 120,000千円
本社 東京都杉並区荻窪5丁目18-14
電話 03-3392-6911
URL <http://www.kokensha.jp/>

中津興産株式会社

設立 1964年4月 不動産業
代表取締役 水島隆明
資本金 40,000千円
本社 東京都杉並区荻窪5丁目18-11
電話 03-3393-5821
URL <http://www.nakatsukosan.jp/>

不動産事業
ビル・マンション管理事業
パーキング事業



中津興産
株式会社

やさしい暮らしの未来形
Comfortable Life Style for Future



b i e n
株式会社
ビアン

介護サービス事業

建設事業



KOKENSHA
株式会社
興建社